

# ジョイフルアスレティック南側交差点 信号機設置を要望

子どもや高齢者の利用が少なくない、印西市牧の原のジョイフルアスレティッククラブ千葉NT店南側T字路交差点。周辺交通量が増加する中、同店関係者などから聞き取り調査を行った上で、地元町内会長とともに信号機の設置要望を行っています。

## ●ジョイフルアスレティック ジュニアクラスだけで1,500人

いわちゃんポスト4月号にて、園児のお散歩コースや保育施設前の交差点など、危険箇所についての情報提供を呼びかけた



「園児を守る110 ジョイフルアスレティック南側交差点番」。今回寄せられたのは、多くの子どもが通う民間スポーツジムに隣接する交差点についてです。

ご連絡いただいたのは、ジョイフルアスレティッククラブ千葉NT店に子どもを通わせているというお父さん。スイミング等で大勢の子どもたちが通う中、隣接交差点の交通量が多く、冬季の暗い時期は特に危険で心配になると言うものです。後日、お父さんとともに現地確認すると、確かに交通量が多い上、カーブを進んできた車両から視認されにくく、歩行者が横断歩道を渡ろうとしてもなかなか停まってもらえません。

さらにアスレティッククラブの責任者からも話をうかがうと、同店には高校生以下のジュニアクラスに1,500名に上る生徒が在籍し、自転車で通うケースも少なくない上、バスを利用して通う多くの高齢者も同交差点を横断しているとのこと。事故を未然防止するための信号機設置の必要性を訴えます。

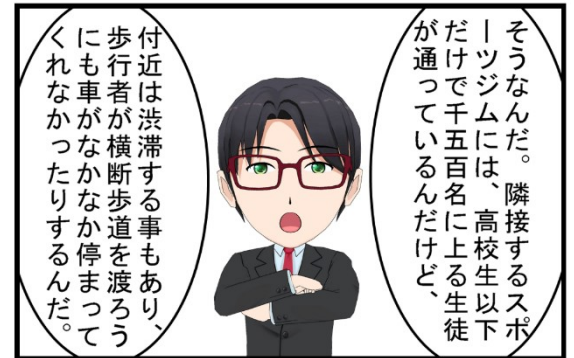
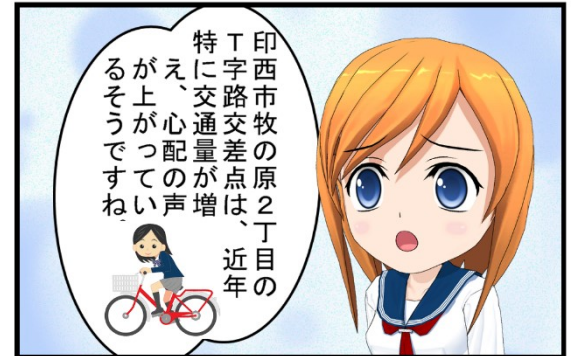
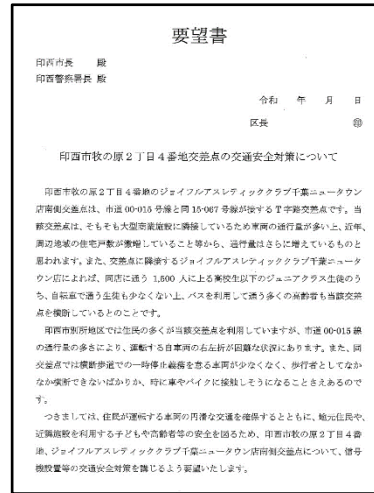
## ●別所地区町内会長も設置要望に協力

ところで、信号機設置や速度規制の新設などを求める場合、警察署は地元住民の考えを重視することから、町内会長の同意を得ることが大切となってきます。そこで何とかツテを頼り、地元別所地区の町内会長さんに話を持っていくことができたのは8月のこと。これまでの経緯、アスレティッククラブ側の考え等を説明すると、町内会長さん自身、歩行者が車に接触しそうになるのを見る等して危機感を覚えていたと話します。別所地区住民も多くが同交差点を利用しており、信号機が設置されればありがたいと関係各所への要望活動に賛同いただきました。

## ●印西市長、印西警察署長を相次いで訪問

町内会長さんとともに印西警察署を訪れたのは9/17。印西警察署長に対し、住民が運転する車両の円滑な交通の確保と、地元住民や近隣施設を利用する子どもや高齢者の安全を図るため、信号機設置等の交通安全対策を講じるよう要望。また、直後に訪れた印西市役所にて、板倉印西市長に対しても同様の要望を行っています。

県に寄せられる、毎年千件を超える信号機設置要望のうち、実現するのはわずか1割ほど。とはいえ、今回は特に必要性が高いと思われる交差点ゆえ、何とか早期設置がかなうよう強く働きかけてまいります。



# いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



# 岩井やすのり

**略歴** 1970年(昭和45年)生まれ51歳  
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: [mail@iwai-y.jp](mailto:mail@iwai-y.jp)

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



**Follow me, please.**  
ツイッター始めました!

## 老朽化進む柏児童相談所 空調故障のまま半年超

設置から50年近くが経過した柏児童相談所。設備に関する構造上の問題から、今年2月以降半年以上にわたり空調機器が故障した状況が続いており、子どもたちは厳しい夏を過ごさなければなりません。

### ●冷温水を送る配管に不具合～修理もままならず

野田市小4 女児虐待死事件で注目を浴びた柏児童相談所。建物の老朽化が激しいことに加え、職員の大幅増員による執務室の狭あい化も進んでおり、数年以内の施設移転が予定されています。



廊下下に埋められた配管設備

そのような中、空調機器が故障したのは今年2月のこと。相談室や教室など約半分の部屋で稼働しなくなり、子どもたちや職員は、暖房のない状況で冬の寒さをしのがなければならなくなりました。

柏児童相談所の空調は、ガスにより吸収冷温水器を稼働させ、冷水と温水を配管に循環させるというファンコイル冷暖房。しかし、その配管溝は子どもたちが行き交う廊下の下に埋められ、かつ人が入れる程のスペースも設けられていません。結果、日々の運営を止めるわけにいかない児童相談所において、配管の欠損箇所を見つけることができなかったのです。さらに、電気を動力源とするエアコン設備を導入しようにも、電気容量が大幅に不足していること、敷地が狭く、室外機を設置するスペースが取りづらいことから、代替案が見出せずきてしまったと言います。

### 柏児童相談所 空調機器故障の経緯

3年2月	初回認知(スイッチを入れても稼働しない)、業者4社へ調査依頼するも断られる
3年5月	新たに業者2社に調査依頼するも、補修対応はできないとの回答
3年6月	ガス空調の代替としてエアコン設置の見積もりを行ったが、電気容量が足りず、全部屋設置が難しいことが判明
3年7月	これまでの調査結果から、既存の空調機器の修繕は難しいと判断

### ●扇風機や冷風扇購入も焼け石に水

情報が寄せられ、現地確認を行ったのは今年の8月。児童が過ごす一時保護施設のうち、ホールや教室は使用しがたい状況にあり、職員の執務室の多くも冷房が稼働していません。7月上旬に扇風機25台、冷風扇6台を導入し、また保冷剤や冷凍庫を購入するなどしたものの焼け石に水。子どもたちは空調が効く狭い食堂で、一日の多くの時間を過ごさなければならぬ一方、職員も扇風機だけの執務室で汗だくとなる毎日でした。

### ●他の児童相談所で同様懸念ないか、調査求める

さらに心配なのは、他の児童相談所で同様の問題が発生する懸念がないかということ。老朽化や狭あい化が進む児童相談所施設は少なくなく、同様の問題がいつ発生してもおかしくない状況です。構造上対応が難しい空調設備を持つ児童相談所がないか調査を進めていくこと、リスクのある施設については、いざという時の準備を速やかに行うよう、県への働きかけを行っています。